

## 安全なクルマ社会を目指して

フキダシ

私は新しいドライバーモニターユニットの開発をしています。

2コマ目

ドライバーモニターユニットには、車内に設置された近赤外線カメラや非接触生体センサーが含まれています。それは運転手の注意散漫、眠気、不注意の兆候を検出することで事故を防ぎます。この新しいシステムは、自動運転技術に使われる重要なHMI（ヒューマン・マシン・インターフェース）になると期待されています。HMIは人が機械と情報をやりとりするために使う装置です。

フキダシ

この技術は未来の車に不可欠な要素になるでしょう。

3コマ目

私たちはこの新しい技術を生み出すために、ゼロからスタートしました。その過程はまるで暗闇を手探りで進むようでした。システムの構成や機能を決めるために、私たちは運転手が遭遇する可能性のあるあらゆる状況を検討しなければなりません。カメラはさまざまな日照条件下で機能しなければなりません。それは性別や民族、運転手が眼鏡やサングラス、マスクを着用しているかどうかにかかわらず、運転手を認識できなければなりません。この過程は技術的に困難ですがやりがいのあるもので、そのことがこの技術の製品化に向けて私たちをやる気にさせてくれます。

フキダシ

私たちの夢はこの新しい技術を社会に届けることです。

4コマ目

もちろん、ものごとはいつもうまくいくわけではありません。三菱電機に入社して3年目に、私は実演を行うためにヨーロッパへ行きました。私は装置の1つを改修しようとしていたとき、うっかりそれを壊してしまいました。私たちは大切なお客様に完璧かんぺきなデモをすることができませんでした。私はとても落ち込みました。

フキダシ

私の責任です！

5コマ目

でも、私にはその出来事を後悔している時間はありませんでした。私はその埋め合わせをする決意をしました。そのため、帰国後に私は装置の改良を行いました。その後、私たちはデモを行うためにパリへ行きました。そこでも、私は寒い冬の夜の駐車場で先輩たちと装置の改善に取り組みました。私たちの努力は報われ、プレゼンは成功しました。お客様から良い反応を頂きました。この成功は上司のおかげです。上司は私に「技術者の仕事に失敗はつきもの。そこから学ぶことが大切だ。」と言ってくれました。挑戦する従業員を応援してくれるのが、三菱電機の社風の重要なところですよ。

フキダシ

失敗を恐れなくて。挑戦し続けよう。

## 6 コマ目(フキダシ)

技術者は仕事で海外に行くことが多いです。私たちは英語を使えることが絶対に必要とされています。英語をしっかり勉強しておくこと、そのことが機会を広げてくれるでしょう。